

第2回 小郡市男女共同参画社会推進審議会 委員の意見の概要と事務局回答

令和3年8月17日(火)に審議会を開催する予定であったが、前日からの豪雨のため、中止とし、各委員に資料を送付し、意見をいただくことで審議会に代えた。意見の概要と合わせて、事務局からの回答を掲載する。

○委員名（敬称略 50音順）

井上智美 岩城一磨 柏 タツ子 草場小夜子 楠 良司 藏森もと子
中村政弘 中村有希子 本多須美子 三苫良夫 村山由香里 米倉鉄夫

○事務局

今井経営政策部長 高田総務広報課長 総務広報課男女共同参画推進室 天野 平田

○ 意見、質問と回答

（1） 第2次小郡市男女共同参画計画 令和2年度実施状況報告について

資料1、P2 主要課題1 施策の方向性（1） 2男女共同参画社会に向けての啓発
（意見・質問）

男女共同参画セミナー参加の数値目標100人/回のままですが、実際は何回開催されたのですか？

また、次年度に向けて「おごおり女性協議会が例年行っている『おごおりフォーラム』と連携して」となっていますが、推進室から女性協議会へ提案はなされたのでしょうか。

（事務局）

令和2年度は男女共同参画セミナーを1回開催する予定でしたが、新型コロナの影響で開催できませんでした。数値目標については、平成31年2月「第2次小郡市男女共同参画計画」施策の中間見直しで決定した目標で、令和5年度までは、この数値目標のままとなります。

おごおり女性協議会の『おごおりフォーラム』と連携して、男女共同参画推進室が「男女共同参画に向けての啓発」を行うことは、令和2年度のおごおり女性協議会委員会において、提案しています。

（意見）

コロナ禍の中、セミナー開催は中止せざるを得ないので、代わりに市のHP上にオンライン発信できるようなセミナーを行ってはいかがでしょうか。

また、保育所や学校教育の推進対策として、子どもや保護者向けにも同様のセミナー、あるいはドラマのようなものをオンライン発信してはいかがでしょうか。

(事務局)

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。オンラインも含め、広報紙や市ホームページ、SNS など、テーマに合った啓発に取り組んでいきたいと考えています。また、県が実施しているオンラインセミナーなどを、市ホームページや SNS で情報提供していますので、継続して取り組んでまいります。

資料 1、P2 主要課題 1 施策の方向性 (1) 3 広報やホームページなどでの情報発信、啓発 (要望)

あすばる男女共同参画フォーラム 2020 (毎年 11 月第 4 日曜開催) について市報に掲載。県民企画事業に採択された CORAL のオンライン配信企画「グローバル企業から学ぶアンコンシャス・バイアスの気づきとテクノロジーの考え方」について掲載。

(※おごおり女性協議会だけではなく男女共同参画の視点を持って、女性活躍を意識しながら、その推進活動をしているコミュニティ CORAL の存在があることを知っていただきたいです。)

(事務局)

ご要望のとおり、令和 2 年度実施状況報告書へ追記させていただきます。

資料 1、P8 主要課題 2 施策の方向性 (2) 2 おごおり女性ホットラインの活用 (意見)

DV 被害者のホットライン相談が、増加傾向にあるので、関係機関との連携に加えて、弁護士による法律相談 (DV 防止法に基づく保護命令等) も利用可能な状況を作るのはいかがでしょうか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。現在も当推進室、市役所関係各課への相談内容に応じて、法テラスの弁護士相談を紹介することもあります。

資料 1、P2 主要課題 1 施策の方向性 (1) 2 男女共同参画社会に向けての啓発

P11 主要課題 1 施策の方向性 (3) 1 農村における男女共同参画の啓発

P11 主要課題 1 施策の方向性 (3) 4 農村女性リーダーの育成と支援

(意見)

男女共同参画セミナー、農村における男女共同参画啓発、農村女性リーダーの育成と支援など、新型コロナウイルスによる影響により、実施できずに D となっています。新型コロナウイルスの感染が始まってすでに 1 年半以上が経ち、世の中は急速にイベント等をオンラインでの実施に切り替えてきています。小都市でも迅速な対応ができるようにしたいものです。オンライン開催だと、男女共同参画セミナーなどに従来参加しないような若い世代が参加される可能性が高くなります。そんな新しい時代の取り組みに向かって欲しいと思います。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。市主催の講座等でも、テーマに合わせてオンラインの活用が進んでいるところです。男女共同参画の啓発についても、オンラインの活用について前向きに検討してまいります。

資料 1、P11 主要課題 1 施策の方向性 (3) 2 家庭経営協定の推進

(意見)

認定農業者になることによって、制度のメリット等だけが先走りしているように感じます。家族経営協定を結んだ後の、数年後の結果も知りたいです。

(事務局)

締結後の状況について、集約することは困難ですが、継続して家族経営協定の主旨を伝えていくよう啓発に努めてまいります。

資料 1、P11 主要課題 1 施策の方向性 (3) 4 農村女性リーダーの育成と支援

(要望)

「農村女性リーダーの育成と支援」ですが、ここ数年現役アドバイザーと OB の交流会は、4～5年、行われていません。今は、どなたがアドバイザーかも知りません。ぜひ意見交換会を作っていただければ、とてもうれしいです。

(事務局)

ご要望として、主管課に伝えます。

資料 1、P16 主要課題 1 施策の方向性 (2) 1 性別に応じた健康づくりの啓発

(意見)

健康課の婦人がん検診の受診率は昨年より向上しているのか、実数を教えてください。

(事務局)

昨年度と本年度の受診率（受診者数）を比較しますと、次のとおりとなります。

子宮がん	令和元年度	27.5%	(1,851 人)
	→令和2年度	26.1%	(1,757 人)
乳がん	令和元年度	25.4%	(1,480 人)
	→令和2年度	22.1%	(1,262 人)

資料 1、P18 主要課題 1 女性の参画・登用の推進 施策の方向性 (1) 女性リーダーの育成

(意見)

小郡市では、男女共同参画センターがなく地域女性リーダーとして学ぶ機会が少ない。新たな人材発掘にもつながっていないのが現状ではないかと思います。県などの女

性リーダー養成講座などの情報を広報に積極的に載せていく必要性を感じます。例えば、本年度で言えば、7月に募集していた「地域のリーダーを目指す女性応援研修」などを掲載し、希望者に対して支援金を助成するなども必要かと思います。

他にも募集中の企画があります。女性活躍は重点施策でもあるため広報掲載が難しかったら SNS 等にて発信していただきたいです。現在募集中の福岡県主催 WOMEN'S BUSINESS CAMP・福岡県女性のための WEB 合同会社説明会など

(事務局)

建設的なご意見、ありがとうございます。福岡県主催 WOMEN'S BUSINESS CAMP ならびに福岡県女性のための WEB 合同会社説明会などは、共に市ホームページに掲載いたしました。今後も、このような情報は随時ホームページなどで周知に努めます。

(意見)

市職員の管理職登用が 29.8%と目標値を遥かに超え、A(評価)となっていることは喜ばしいと思います。しかしながら、審議会委員の女性登用は 33.0%と目標に及ばず C 評価となっています。審議会等委員への女性の登用の推進は、重点施策の 1 つでもあり、大変重要な目標です。それが C というのは残念です。

(事務局)

市職員に対する男女共同参画への意識啓発を継続して行い、さらなる女性活躍の推進を図ります。審議会等委員への女性の登用については、効果的な取組を検討するとともに、継続して意識啓発の取組を進めてまいります。

資料 1、P20 主要課題 1 施策の方向性(4) 1 女性消防団員の防災活動への参画 (意見)

市女性職員に入団を勧める、とありますが 現在の実数は？また、小郡の女性市民なら誰でも消防団に入れるのか？入団要件があるのか、目にする機会がないので、教えてほしい。

(事務局)

主管課である防災安全課に確認したところ、現在、女性消防団員 11 人のうち市職員女性消防団員は 1 人です。消防団の入団要件は「18 歳以上で市内に居住、勤務、通学している男女」です。「小郡市消防団」という消防団広報誌を年 1 回、「広報おごおり」とともに配布して市民に募集を行っています。また、市職員に対しては、新規採用職員研修などの際に主旨を説明したうえで入団の勧誘を行っています。

(2) 第2次小郡市男女共同参画計画 令和2年度重点施策実施状況報告書について

P2 2 審議会等委員への女性の登用の推進 ▼今後の取組

(意見)

団体への「お願い」でしかないので、これで達成できるのでしょうか。このままでは難しいと思います。審議会委員のメンバーが新しくなって検討する時、40%に達していない場合は、上長は決裁しないくらいの強い姿勢が必要ではないかと思います。

(事務局)

審議会等の主管課を通じて、団体からの委員選出を会長など役職に限定しないなど積極的な女性の登用に努めるよう依頼しているところです。庁内会議においても、審議会等委員への女性の登用については、より積極的な取組が必要であると意見が出ております。効果的な取組について、検討していきたいと考えております。

P2 3 地域や家庭、職場における男女共同参画の推進 ▼実施状況報告について

(意見)

R2.8月号広報紙に、地域における女性の参画状況の表を掲載されており数字で示されたこと、女性区長インタビューはとても良かったと思います。女性を区の役員にしたことでどんな効果がありましたか？の回答ですが、1点だけ気になったところがあります。女性が入ったことで和やかになるという女性らしさというアンコンシャス・バイアスの視点ではなく、女性の意見から地域課題に気づけたことや、運営において変化したこと、その効果がわかるように具体的な事例を書いてくださるともっと女性活躍推進の理解につながったと思います。

(事務局)

ご意見のようにインタビュー記事にあたっては、質問項目なども十分検討し、より男女共同参画及び女性活躍推進の理解につながる啓発記事となるよう、継続して取組を進めてまいります。

(意見)

広報のタイトル変更いいですね。R3.8月号の小郡農ガールズも拝見しました。これまで法令的な硬い文言が多かったのですが、今までとはちょっと違った切り口で掲載されたことは、地域における女性活躍推進を表現していく広がりを感じました。

(事務局)

ありがとうございます。今後ともより親しまれるコーナーにしていきたいと思います。

(3) 第2次小郡市男女共同参画計画 令和3年度重点施策(案)について

2 あらゆる分野における女性の活躍

(意見)

「○ さまざまな分野において男女がともに活躍できるよう情報発信と啓発に努める

・ 「職場における男女共同参画の視点の情報発信と啓発」について、あらゆる分野の職場とは、特定事業主である小郡市の職場だけではなく、市内の事業者も含んだものであると思います。情報発信と啓発に終わるのではなく、事業者からのレスポンスも得ながら双方向の参画が必要な時期に来ているのではないかと考えます。特に、小郡市に入札競争資格を持つ業者には、業者における男女共同参画の進捗状況を把握する資料にもなります。この資料を活用することは、本市の男女共同参画の推進を妨げないと思います。また、業者において男女とも活躍する共同参画を意識して進めていくきっかけになると信じます。現在導入されているのかどうかはわかりませんが、本計画を小郡市関連、地域のみだけではなく事業者にも枠を広げた「職場」となるよう、ご意見申し上げます。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。市内事業者に対しては、国や県主催の女性活躍推進に関するセミナー等の情報を、市ホームページを中心に担当課と連携しながら情報発信しているところです。

各事業所における男女共同参画の推進状況については、個別の把握が難しいため、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度である「えるぼし認定」などの活用を推進しながら、意識向上を図っていきたいと考えております。

(意見)

重点施策として女性活躍推進に今後力を入れていかれることが伝わります。これからの地域において、またコロナ禍においても、あらゆる面でとても重要なことだと改めて認識しました。

- 1 小郡市の防災会議委員には女性委員っていらっしゃるのでしょうか？
- 2 あらゆる分野における女性の活躍が見える化するためにも資料4には、R2.8月号の広報誌に載せられた地域における女性の参画状況の表、議会における女性議員の割合や議長や副議長の状況、小郡市職員の管理職における女性の割合なども載せていただきたい。
- 3 女性活躍のための意識改革と教育の推進において
男女共同参画の視点に立ったキャリア教育と進路指導の促進は具体的にはどんな施策を考えておられるのかをお聞きしたい。

(事務局)

ご質問にお答えします。

- 1 小郡市の防災会議委員の女性委員は21人中4名です。
- 2 今後、資料への追加を検討いたします。
- 3 本施策は、国ならびに県の方針により策定した目標です。県は、平成31年度に「男女共同参画教育－指導の手引－」を改訂し、男女共同参画教育について学校教職員の授業しやすい資料として配布しました。中学校社会科では「個人の尊厳と両性の本質的平等を理解すること」、特別活動では「男女相互について理解するとともに、共に

協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画する」ことを学び、女性活躍推進のための意識改革を図ります。具体的にはこの「指導の手引」をもとに、本市の実態に合った研修、あるいは授業を展開、進路指導を行うことになります。

(意見)

審議会でいつも話題になるのが、自治会長、区長など、自治会組織のトップに女性が少ない問題です。それぞれの自治体にお任せしているだけでは、この問題は解決しないように思います。福岡県那珂川市では、自治会長が女性のところには支援金10万円、役職者等が30%以上ならばさらに支援金10万円という施策をしています。このような先進的な取組を参考に、小郡市でも重点施策の中に入れてはどうでしょうか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。地域における男女共同参画の推進のために、広報紙や市ホームページを活用した意識啓発に取り組んでいるところです。ご紹介いただいた那珂川市などの先進的な取組を参考に、効果的な取組を検討してまいります。